

2022年度業務実績報告書

提出日 2022年12月19日

1. 職名・氏名 准教授 松下元則

2. 学位 修士、専門分野 総合政策、授与機関 中央大学、授与年 2000年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 経営学総論Ⅰ（2単位）、配当年次：1年
②内容・ねらい	内 容：経営学の基本的な知識の解説。 ねらい：受講生が①経営学とはどのような学問かをイメージできるようになり、②経営学の専門用語を使って書かれたものを読めるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	Google Classroom を併用して、対面講義を行った。毎回、Google Classroom で講義資料（PDF）と講義動画（含：小テストの解説）を配布・配信し、小テストを実施した。
① 担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 国際経営論（2単位）、配当年次：3年
②内容・ねらい	内 容：国際経営論のケース論文の講読。 ねらい：受講生が①国境をこえた企業活動の実態をイメージできるようになることと、②国際経営論の専門用語を使って書かれたものを読めるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	受講生は、ケース論文を要約したレジュメを提出したうえで（Google Classroom 使用）、ケース論文を用いてグループ・ディスカッションを行った（Zoom 使用）。国際経営論の基礎知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。また、東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーからケース論文を各自がダウンロードして使用することで、図書館で契約しているオンライン・データベースを受講生が使用する「きっかけづくり」をした。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 基礎ゼミ（2単位）、配当年次：2年
②内容・ねらい	内 容：経営戦略論の入門書の講読。 ねらい：受講生が経営戦略論の入門書を読めるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	受講生は、教科書の内容を要約したレジュメを提出したうえで、教科書の内容に関連のあるトピックスについてグループ・ディスカッションを行った。経営戦略論の基礎知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 外書講読Ⅰ（2単位）、配当年次：2年
②内容・ねらい	内 容：英語で書かれた経営戦略論の論文の講読。 ねらい：受講生が①英語の文章に慣れることと、②論文を1本、最初から最後まで読む体験をすること、③著者の主張を要約できるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	理論というレンズを通して経営現象を理解することの面白さを実感できる内容で、受講生が比較的読みやすい論文を選んだ。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅰ（4単位）、配当年次：3年
②内容・ねらい 内 容：経営学のケース論文と最新の学術論文の輪読。 ねらい：経営学の専門知識を使って企業の行動を理解できるようになることと、最新の学術論文を読めるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生は、論文を要約したレジュメを提出したうえで、論文に基づく議論を行った。経営学の専門知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。また、東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーからケース論文を各自がダウンロードして使用することで、図書館で契約しているオンライン・データベースを受講生が使用する「きっかけづくり」をした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（4単位）、配当年次：4年
②内容・ねらい 内 容：受講生全員が卒業論文を執筆し、演習Ⅰ・Ⅱ合同の卒論発表会で口頭発表と質疑応答を行った。 ねらい：経営学の専門知識を使って、身の回りの企業の行動を分析できるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 適宜、Zoom と Google Classroom を併用しながら、受講生一人ひとりの興味・関心と進捗状況にあわせて、卒業論文の個別指導を行った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代経営学（2単位）、配当年次：大学院
②内容・ねらい 内 容：経営戦略論の入門書の講読。 ねらい：受講生が経営戦略論の入門書を読めるようになること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生は、教科書の内容を要約したレジュメを Google Classroom で提出したうえで、教科書の内容に基づく議論を Zoom で行った。経営戦略論の基礎知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 福井を学ぶ（2単位）、配当年次：1・2・3
②内容・ねらい 講義を1コマ（6月16日）、担当した。担当回のテーマ（キーワード）は、「企業と経営：福井の事例から考える」（戦略、組織）。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 永平寺キャンパス周辺で観察される経営現象と県内企業を題材にして、経営学の基本的な専門用語とその使い方（＝経営現象の考え方）を解説した。
(2)その他の教育活動
内容

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>	
①著書	<b>【0本】</b>
②学術論文（査読あり）	
松下元則「COVID-19 流行下の飲食店の取組み：“経営者 111 人の自己採点” の計量テキスト分析」『地域公共政策研究』32, 2022, pp.17-29.	<b>【1本】</b>
③その他論文（査読なし）	<b>【0本】</b>
④学会発表等	<b>【0件】</b>
⑤その他の公表実績	<b>【0本】</b>
<b>(2)科研費等の競争的資金獲得実績</b>	
<b>(3)特許等取得</b>	
<b>(4)学会活動等</b>	

## 5. 地域・社会貢献活動

### ⑥公開講座等

- ・ 福井県立大学短期ビジネス講座 2022、企画コーディネーター（含：当日の司会）。  
日時：10月15、22、29日 13:00～16:10

### ⑦その他

- ・ 福井県立大学一般教育科目「福井を学ぶ」、協力教員。  
日時：6月16日1限  
題目：「企業と経営：福井の事例から考える」

## 6. 大学運営への参画

### (1)補職

### (2)委員会・チーム活動

#### 【法令に基づく委員会等】

- ・ 入学試験本部委員、R4.4～現在に至る

#### 【経済学部内各種委員】

- ・ 短期ビジネス講座企画コーディネーター H27.4～現在に至る
- ・ 1年生相談担当教員 R3.4～現在に至る

### (3)学内行事への参加

- ・ 入試説明会  
大野高等学校（7月7日）、富山県立大門高等学校（7月8日）、足羽高等学校（7月11日）

### (4)その他、自発的活動など